



ベッコ

①



永

井

文

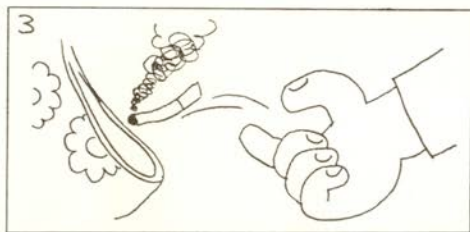
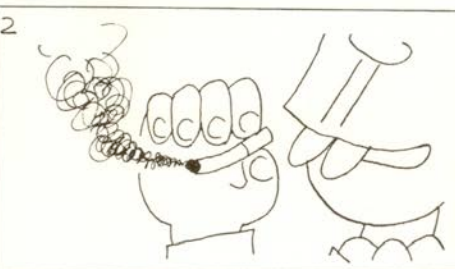
明



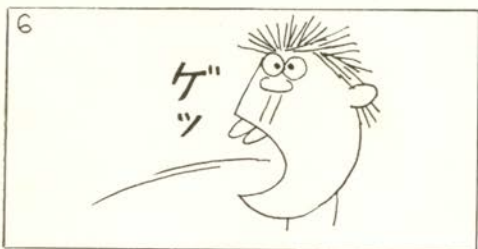
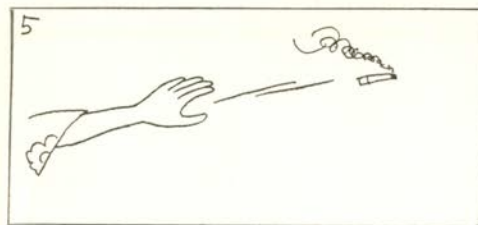
オレは「ごんじ」
晴れ着魔



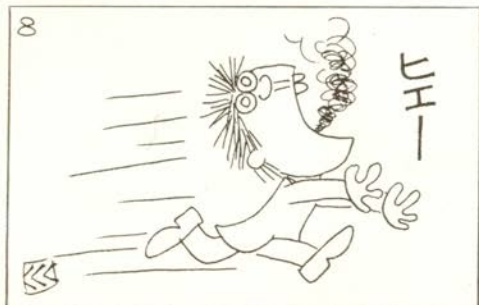
今年も
ひとあはれ
するか!



サッ



ファン
またか
4人!



ヒー

神 戸 遊 戯 誌

29

写真上は昭和十四年六甲山八代池で左より
上野衣子・依岡礼子・稲田悦子・山下麗子
写真左は豊科湖ですべる上野衣子・右下は
日本に初めてきた世界女子スケート第2位
のブルガー・娘ナンバリンクで。



スケート ①

青 木 重 雄

スケートの歴史は「百科辞典」によると、一七四四年にイギリスで行なわれたのが最古の記録となっているが、日本へ紹介されたのは一八七七年（明治十年）で、アメリカ人のブックルが札幌農学校（北大の前身）へ教師として赴任してきた時、スケート用具を持参してからだ。その後、来日の外人が札幌、仙台、神戸（六甲山）などで滑り出したのにつれて、日本人の間にもスケートを習うものがポツポツ現われだした。

明治三十九年に長野県の諏訪湖で日本初のスケート競技が行なわれ、四十一年には同湖一周競技が催され、大正にはいと、平沼亮三、柳沢敏文氏らの手で日本スケート協会が誕生（大正九年）、十三年には全日本学生氷上

競技連盟が生まれ、つづいて昭和五年には第一回全日本スケート選手権大会が青森県の八戸市（スピード）と日光市（アイスホッケーとフィギュア）で開催されて、日本のスケートもようやく本格的となってきた。

外人の多かった神戸は、ゴルフやスキーと同様にスケートでもスタートがはやかった。大正十年に神戸在住の静勢亀太郎、東井宜明らが中心となって六甲スケート・クラブが結成されたのが、日本最初のフィギュア・クラブだった。当時はまだ神戸にも大阪にもスケート・リンクがなかったので、冬季の六甲山上の池で自然の水で滑るのが唯一のチャンスだった。従ってケーブルがつくまでは、みんなスケート靴をさげて歩いて上ったものだ

が、われこそ一番に「油氷」で初滑りを試みよう、朝早くから競って登山したものだ。山上の下村茶屋で前夜から泊まる者もあった。技術の方もむろん幼稚で、外人のマネをするか、適当な先生や翻訳書がないため丸善あたりから横文字のスケートの入門書を買ってきて、熱心におぼえるかのどちらかだった。大正年間には「パニイのスケート」という本がよく売れた。

大正十四年にやっと大阪の市岡パラダイスにインドア式スケート場ができ、さらに昭和にはいると、聚楽館に作られ（昭和八年）、つづいて大阪の朝日ビルの屋上や、京都の歌舞伎座、神戸新開地本通りを少し東側へ寄った場所などに作られて、ようやく盛んとなってきた。その頃スケート靴の値段は舶来品で五円か六円。最上等のもので十円、また国産品で三円か四円だった。服装は、男子はニッカーズボンが多く、女子は長いスカートだった。今と違い、入場料も割り安で、せいぜい一時間三十銭ぐらいのもの。六甲山上の池ならどこでも無料で滑れた。星野別荘のあった星野池などでは別荘の爺さんが出てきて、氷の上をよく掃いてくれたものだった。いちばん盛んだったのは昭和十年頃で、聚楽館スケート場など、日曜日には多くの客がスケート・リンクにあふれていたものだった。なかには、自転車の上にスケート靴を載せて、口笛で「恋はやさし、野辺の花よ」なんて上品なオペラソングを口ずさみながら、スケート場へ通ってくる酒屋や八百屋のデッチもたまにはいたし、女性客もかなりめだつようになっていた。

ところで、六甲山上池ではスピードもフィギュアもやれたが、なんといっても大きな池や湖の多かった北海道や信州と違い、大阪や神戸では広いリンクに恵まれなかったから、スピードやホッケーが二の次となり、フィギュアが最も盛んとなったのは当然のことだった。従って名選手もフィギュア部門に現われるようになった。関西フィギュア選手権が大正十四年から始まり、全国フィギュア選手権大会も同じころから始まったが、外人

選手も交えて仙台で開催された第二回「全国」には、大阪の老谷選手が優勝、第二位にも同じ大阪の帯谷選手がはいった。兩名とも六甲山上池での練習が実を結んだものだった。下諏訪で行なわれた第三回同大会には阪神間に住んでいた佐藤金五選手が、第四回にも関学の片山選手がそれぞれ優勝した。以後二年間をおいて、第七回から第十一回まで連続五回立てつづける優勝も阪神間の選手（第十一回は神戸の神田博選手）によるものだった。ただし、第十二回以後は、残念ながら関東の選手に覇権を奪われつづけた。

昭和八、九年ごろには、女性の名選手が阪神から登場し出した。稲田悦子がそのナンバー・ワンだった。彼女は小学生のころからスケートをやり始めたが、大阪梅花女学校へ入学してからはメキメキと上達して、以後全国女子フィギュア選手権大会にたびたび優勝をした後、世界オリンピック大会へも出場するようになった。稲田選手に次いで、甲南女学校の上野衣子（上野純子の母親）がいた。上野も小学校六年生の時から習い出したが、たちまちスケート界の注目を浴びるようになり、全国大会には稲田に次いで二位にはいたり、三位になったりした。このほか、月岡芳子（大阪・大手前高女）依岡礼子（当時神戸在住、現在和歌山）なども優秀なスケーターだった。といっても、ゴルフと同様、選手になるためには、相当の月謝が必要だったわけで、貧乏人にはとてもむずかしい高級遊戯だった。とりわけ女性の場合は、親の理解が必要だった。宮様などのなかにスケーターがおられたのも一特色で、三笠宮や李王殿下はじめ徳川家などのフィギュア・マンが愉快そうに滑っている写真が、新聞やグラフによく紹介されていたものだった。

（四十・十二・十五記）

神戸うまいもん巡礼

No. 41

赤尾 兜子

鍋料理の巻

松葉ガニは冬の雪深い但馬にかかせぬ美味、つまり兵庫県の大事な味覚だということである。その醍醐味は、現地で求めるのが最上だが、それを神戸で味わうにはホテル全但（生田区下山手通り四、県庁東）か、おなじ経営の「千石船」（三宮地下街）がある。

生（なま）のカニすきというのがその看板で、シーズン（十一月—三月）は但馬海岸で捕獲したものを車で神戸へ直送、四—十月のあいだは、貯蔵庫に冷凍しておいて、それをもととして使うというぐあいである。だから年中できる。

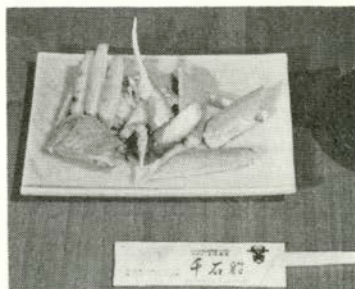
ナベに松葉ガニのツメ、セコガニでとっただしを入れておいて、生のカニ、それに豆腐、白菜、ねぎ、粟ふ、ぎんなんなどと一緒に入れて煮てあげる。カニから適度な甘みが出て、それが豆腐や野菜類をほどよく味つけし、とくに冬場、赤くゆであがったカニと、

湯気の暖かさは、快よく、但馬ほどではなくとも、そのしこしこした味は情趣に富むものだ。

前菜にカニ酢（三〇〇円）もあるし、夏場はてんぷら焼カニ、コキールのたぐいもよい。カニすきは八〇〇円と一〇〇〇円。

「ホテル全但」は二階が気軽なカニすきコーナー、「千石船」の方は、十卓、四十五人ぐらい収容できる。

もともとは、田中全但バス社長が中国を訪れた時に、



千石船のカニ酢

「涮羊肉」（シユワヤンロー）にヒントを得て、羊のかわりに但馬牛の神戸肉でできないかと考え、それを「肉のしゃぶしゃぶ」の名ではじめた。中国ふうの火鍋にダシをわきたたせて肉のロース、野菜を入れてゆで、それを白ゴマを台にしたタレかボン酢のタレかいずれかにつけて食べるという寸法。この方法で食べると、脂っこい肉がいくらでも食べられるというので、このところ神戸だけでなく、流行しはじめて奇妙だった「肉のしゃぶしゃぶ」という名も、いまではもはや常識になって知れわたっている。「全但ハウス」は三、四階の和室で一、二〇〇円から。「千石船」は八〇〇円と一〇〇〇円。

「赤坂」（生田区中山手通四丁目、県庁上ル交番東）は、外目は高級料亭ふうの構えで、いささかなじみにくいが、内容はそうでない。開店して十二年。加古川高女出身の女将は、少女時代から油絵に血道をあげ、昨年もヨーロッパを回り、いろんな巨匠のアトリエを訪問したという変り種。そんなわけで、庭の一隅にアトリエを持ち、十数間ある座敷の床には、それぞれ自作の抽象画を掛けている。

この料理では、まず吉野鍋が楽しい。吉野葛（くづ）をつけるので、この名にした。さつとゆがいたオスの若鶏のもも肉と白菜、菊菜、粟ふ、葛切、生しいたけ

などを一緒になべに入れて煮あげ、ゴマ台の濃厚なタレ、ポン酢のあっさりしたタレ、この二つで、食べわけるのだが、とてもトリの肉がやわらかく、ほのほのとした感触がある。突出し、ご飯をつけて八〇〇円。

あとひとつは「清盛焼」という名を独創した牛、豚肉の鉄板焼である。それを日本座敷でやる。もともと晩夏から初秋のつなぎ料理として、スタミナがつくだろうというので神戸にゆかりの平清盛にあやかって名づけた。それが、バーベキュー流行の風潮と相まって、人氣がのび、この店の動かぬメニューとなったという次第。

牛、豚肉のロースと玉ねぎ、ねぎ、キャベツ、菊葉、ピーマン、ナスなどを手軽に座敷へ持ちこびできるう



情恵に富む千石船のカニスキ

すい鉄板の上にのせて、焼いて、ゴマ台に多様なミソ、酒、ミリン、レモン、ニンニクなどをまぜあわせたゴツ

テリしたタレ、ポン酢の二様にひたして食べる。味覚とはよくしたもので、このゴツテリタレに、はじめはやや抵抗感があるが、二度、三度口へはこぶにつれて、かえ

て、コクが生れるから妙だ。

ご飯をつけて、一〇〇〇円。

商社、官庁はじめ、PTAの会合などにも利用が多く不況の風の余波をそれて、客足がとだえないのは、その

値段の良心にあると、私は見た。

とにかく、日本座敷が、大衆と離れつつある最近、この女将の経営のやり方は、よろしい。



赤坂の名物の一つ清盛焼

紳士入門 ③

How to be a gentleman

講演紳士

文・竹田洋太郎
え・石阪春生

テレビ、ラジオ、新聞、雑誌と、ものを知るにはすべてこと欠かない現代なのに、講演を聞きたいという人びとの欲求は一向衰えない。たとえば、あなたが国税局の高額所得者の番付にのるやいなや、必ずどこかの団体から人物がやってきて、ぜひこんどの私共の会合でお話をうかがいたいという。あなたが、ちょっとした著書を出版すると、婦人団体のインテリオバハンが「センセイにぜひお話を」という。その他会社官庁のグループや職員研修にはすでに講演料の予算をとってあるものだから適当な講師を探すのに鵠の目鷹の目なのである。

従って紳士諸君もときには駕を枉げて、一席ぶちにいかねばならないという破目に陥るのである。その際紳士としてはよほどの事情がない限り講演を断るべきだろう。というのは、もしあなたが高額所得者である場合は、聴衆はあなたがなにを語るかよりも、あなたの顔をみて「アヤカリタイ」ために講演を依頼するのであり、もしあなたがベストセラーの著者ならば「あんなことを、どんな顔して書いたのだろう」という好奇心を満足させるためにお話をお願いするのである。そういう欲求を満足させる義務があるならば、当然依頼に応じるべきだが、それは紳士の義務とは考えられない。よって断るのがまず正しいのである。

しかし、よんどころない事情もあり、主催者の顔を立てる必要も時には存在する。そこで紳士といえども講演に臨まねばならない。それについての心得を二、三挙げてみたい。

まず紳士は講演に際して「含羞」を忘れるべきではな

い。司会者が講師を紹介すれば、見合に臨む女性のごときはじらいを見せ、ポツと顔を赤らめることを推奨するつまり英語でいう *blush* だが、英国においてもそういった人物を紳士とするのである。もともと、ゴルフ焼けでまっ黒の人物が赤面することはなみ大抵でないから、常に実施せよというのではないが。

次に、講演の内容は「だれにもよくわかる」ものではないのである。といって、もちろん、だれにもわからないものでも困る。聴講者の半分くらいがわかって、半分くらいがわからない、というのが理想的である。というのは、わかった半分は「わたしは予備知識が豊富だからよくわかったのだ」と自己満足にひたることができるし、わからなかった半分は「むずかしいが、いい話だった」と、自分を慰めることができるからである。もし聴衆のレベルがほぼ同一の場合は、半分くらい全体にわかる話をして、あとは専門的なわからぬ話を入れておけばよい。

さて、講演の時間の長さも問題である。十分や十五分はいわゆるスピーチであって、ジャンルが異なるので、大体三十分以上となっているが、それ以上は短かいほどいいのである。最初のべた通り、聴衆は本来顔を見にきているのであって、話を聞きにきているのではない場合が多い。そして、大体三十分もすればいくら辛棒強い聴衆も講師の顔を見飽きてくる。そして講師の表情や語り口の変化も、ほぼ出尽すものである。

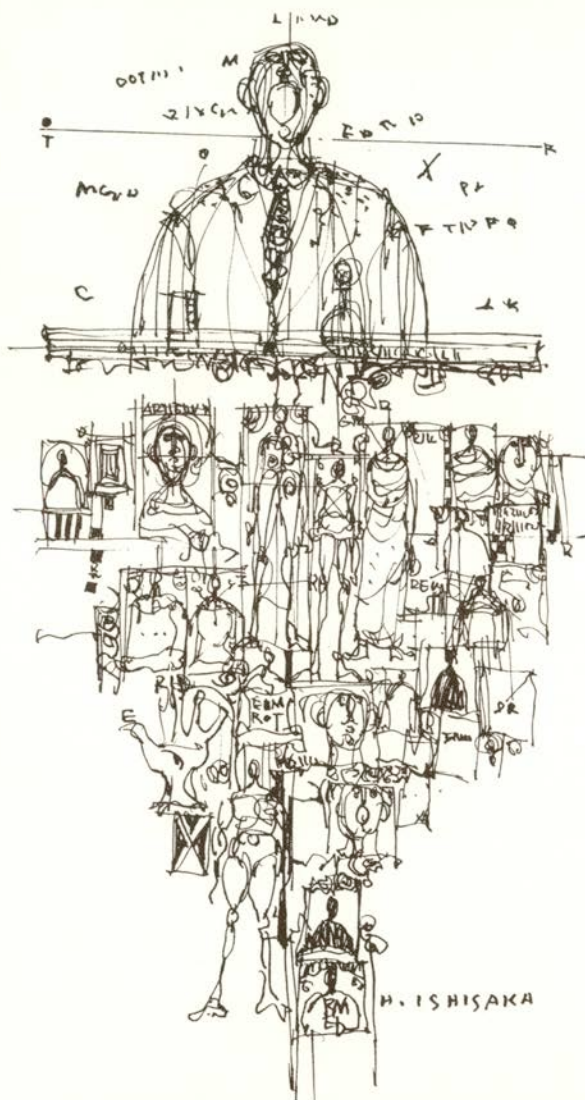
それならば内容を豊富にかつユーモアをまじえて、聴衆を飽きさせないようにすべきか。答は否である。聴衆を飽きさせないというサービスピスは紳士にとって

不必要なことであって、それは講釈師、落語家、説教師、教師、マスコミ屋さん、近ごろ多いインストラクター等、常時しゃべることを義務づけられている人間にまかせておけばよい。適当に飽きさせ、アクビの一つも出してこそ、それをシオに講演を切り上げられるのである。紳士は必要以上に人を楽しませ、時間を忘れさせる講演はすべきでない。そこで講演が下手だという評判が立てば、その後講演の申込みがなくなるだろうから、一挙両得である。

つぎに講演における「脱線」について一言する。さきに「評論家紳士」の項で、紳士の評論は脱線を避けよとのべたが、講演の際はむしろ脱線も有効な場合がある。

といって、自分でことさらに脱線し、聴衆の笑いを誘うものは採らない。それよりも、首尾一貫せず脈絡整わず木の葉が散るように話題が散ることが大切であろう。こういう講演はかえって「風格」があり、講師のこだわりぬ性格の現われとして好評を博するはずである。

つづめていうと、紳士の講演は「簡単、不明瞭」であるべきで、もし、それで続いて講演の依頼がなければそれでよし、続いてあれば、それに磨きをかけ、ますます簡単、ますます不明瞭として期待に答えることとなろうこの際、われわれが思い出さねばならないのは禅の公案である。まさに簡単不明瞭の見本であるから、ときには「無門関」などひといて、練磨されたものである。

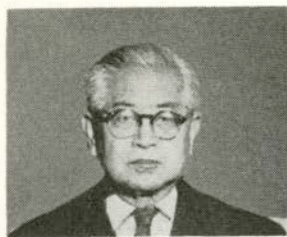


ポケットジャーナル



故河上丈太郎氏を悼む会

故河上丈太郎氏をしのぶ会が旧ろう二十三日、関西学院時代の教子をつくられている丈門会を中心に、関学大のチャペル・センタ―で行なわれた。葬儀いっさいが東京ですまされたため関西初の告別式を兼ねたもの。河上さんは新明正道、松沢兼人、阪本勝教授（当時）らがグループの先頭に立ち、神戸での自由主義運動を闘った人だけに、遺徳を慕って集った人々は数多かった。普選第一回前後の活躍にさまざまな回顧



故河上丈太郎氏

神戸市の人口増加に六甲山系も泣きべそ

がつづられ、改めて河上さんの偉大さを確かめた。また、二十二日、神戸の海員会館で行なわれた社会党県本部告別式には、佐々木更三社会党委員長、各党代表者をはじめ、阪本勝氏など故河上氏と縁故の深かった人々も参列。末子未亡人は「もう五年すると私達は金婚式をむかえようとしていましたのに……私は政治家の妻として彼と共に歩むことを望んでいました。が今度のようなことになり、本当に残念です。しかし、河上は死んだのではなく、河上は死んだのではなく、皆様の胸の中に生かして下さいます。と挨拶された。高潔だった河上さんのお柄をしのばせるように一般の参列者も数多く、皆、それぞれに心をこめて、白菊にかこまれた故河上さんの霊前に、一輪ずつの花をさ

「人増え六甲泣く」―神戸市の人口を、こう読んだ人がある。国勢調査（40・10・1）の結果によると、二一六、五七九人。前回の調査（35・10・1）より十万二千六百二人増えて九・二%増。年々足もとをけずられていく六甲山系が泣きべそをかくのも無理はない。ところで『イチニチムコナク』（一日ムコ泣く）と読むところがいて、その理由が人を知っている。『前回が、一、一三、九七七人で、いい人サンキュー質流し』。まだ質屋でことたりたが、こう不景気になるで質ではおっつかない。一日中泣くというわけだ。念のため三十五年暮れの記録をみると「逆さに読んで、喜寿でサンキューいい人ね」と覚えればよろしい」とあった。

以上神戸市役所三階で聞いた話。

生活保護世帯の多いある区役所の玄関へ、数人の「高利貸し」があらわれ、保護費を受けとって帰える人たちが相手に商売をしているという。支給日になると、決ったように姿をみせ吸われるように寄っていく人たちに貸しつけるわけだが、返済方法は日掛け。支給された一

誕生日 ありがとう 運動



年に一度、誕生日に健やかな心身を恵まれた幸福を感じて、お祝いの費用の中から百元を献金し、豊かな心で、恵まれない人々をつつもうという。この運動発足以来、皆さんの暖かい愛の手が、そぞくぞくと差しのべられてます。現在、全国から寄せられた献金は、三二八六口、六一五、五七七円。最近の傾向としては高校、幼稚園などの集団参加が特長といえます。その他感想、意見などのお便りをお寄せいただいた方も多数にのぼり、本部では整理に汗だくとなっています。幸わたりはいい小学校の一ねん生です。九月八日にはわたしのたんじょうびでした。せんせいのおはなしを、おかあさんからききました。ことしはおともだちをよばずに、ケーキもおかあさんにつくってもらいました。すこしですが、めくまれないひとのためにつかってください。

（神戸市・小学生）
幸このような運動の存在することが美談なのか、恥しい話なのか判りませんが、少くとも政治家の皆さんは、この運動に参加している数千人の数を、単なる善意の人の数としてではなく、現在の社会福祉の貧困への無言の批判者の数として、受取って欲しいものです。（神戸市・学生）

この運動にご協力下さる方は運動本部までお申出ください。
誕生日ありがとう運動本部
神戸市長田区前原町一―
市立案内小学校内
TEL 〇九一七―八

カ月の保護費が数日足らずで消えてしまうケースが多い。

「支払えないとヤクザが取り立てに来るんです。それで手数料をもらっているんでしょね」

と被保護者Aさんの話だが、法的には個人の貸借関係で合法だから、借りる方が悪いということになる。お役所も知っていてもどうにもならないという難かしい問題だ。

きびしい冬のお話である

積極的な活動を続ける

神戸西ライオンズクラブ

神戸西ライオンズクラブ（森茂会長）が須磨ライオンズクラブと協力して須磨

計時花



日本はどこへ？

新しい年を迎えるということは、だれにとっても心はづむものです。時を区切ることで、心を新しくするという人間の知恵が、そこに働いているように思います。

ところで、年は新しくなることはあっても、私

長田両区に水銀灯七基を寄付したことは歳末の明るい話題として新聞に紹介された。

これは「光りのまち神戸」

運動に協賛するためのものだが、神戸西ライオンズクラブの地味な活動には、いつも積極的なシンが通っている。

あまり知られないようだが日本チャリティ・ブレイト協会の「肢体不自由児を救おう」運動でも、同クラブが協賛団体第一号。慈善

ナンバーつきキーホルダー用ブレイトを配布し、ブレイトをうけるカーオナーのナンバーを全部、管理センターで保管するというもの。キーホルダーを失くしても所有者を捜せるという

ものの住んでいる社会はなかなか新しく生れ変わる気配がありません。どうせ社会が保守的であるのは分りきっていますから新しくなるまでには、長い時間が必要でしょう。

そうはいっても、なかなかならないものか、と慨嘆せざるをえない場合もよくあります。

日韓国会をみれば歴史とするように、日本の政治家のダラダラぶりは、目をおおわしめるものがあります。議長辞任なんてどうせたいした責任のとり方ではありません。議長の権威など、とつくに

う仕組みで、趣旨に賛成人から寄付を集める運動だ。心にも光りを」というわけである。

『神戸市史』第三集

『社会文化編』発刊される

『神戸市史』第三集の「行政編」に次いで『社会文化編』が発刊された。現在準備中の「産業経済編」と合わせて三部で完結するが出そろえば昭和八年以来の総合史。

「社会文化編」(A5判、八八ページ)の項目を並べてみて――

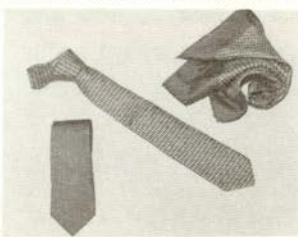
(社会編)戦時下の生活、戦後の生活の変化、明るくなった市民生活、新しい社会問題、社会教育、公園、

失われていたのですから政治家諸先生方よ。少しはまじめに、天家国家の問題を考えてくださいませんか。日本人はこれから先どこへ行こうとしているのか、心ある人々は真剣に心配しているのです。

おそらく政治家尊敬されざることに、日本は全く後進国という他ありません。新しい政治家出でよと思わざるをえないゆえんです。(M)

★はいからコーナ―

おしやれなあなたのために海に向うから集まった舶来品のネクタイなどはいかでしょう。ちよつとオシャレたデザインのものネクタイをしめるというのでもなかなかたのしいものです。写真はエルメス製品で左のネクタイは日本に一本しかないという高級な品お値段はタイチーフセットで ¥6,800 (ワイアード クロス)



★ティータイム

三宮京町筋タイエーを東へ入ったところにある喫茶店。店内はけっこう広く、グルム客も多いがショウピングの途中で休息にちよつと立ち寄るのにもいい。このコーヒーの味はどっちかといえばソフトタッチ。ラテンミュージックが主。コーヒー、紅茶 ¥70、サービスタイムは9時〜13時まで ¥550 TEL 5306



緑化、労働運動、戦災、災害、あすの神戸の一〇章。

(文化編) 文学、美術、演劇、映画、音楽、新聞、ラジオとテレビ、重要文化財、年中行事の一〇章。

節にわたって八十四節、項にわたって百三十余という細密なもので、統計、写真も豊富。昭和九年以後、神戸で起った社会的、文化的なできごととは網羅されつくされている。非売品だが頒布希望者が殺倒しているという。

下から眺めて美しい
ポートタワー

四億五千万円の工費をかけてつくったポートタワーの観光客がドカ減りで、年末市会決算委で問題化した。三十年十一月下旬に完成して以来、世界でも珍しいパイプ鋼材のつづみ型タワーとして観光客を集めてきたがどうにかにぎわったのは最初の一年ぐらい。日を追って少なくなった。

区民の作った自治会新聞『須磨』発刊

お役所臭のきつい広報はお断わり—というところから、新しい新聞が出る。須磨区自治連合会と須磨区役所の協力で月一回発行される『須磨』。タブロイド判(ふつうの新聞の半分)四ページだがとにかく読ませる、というからたのしみだ。

内容は教養と娯楽を中心に、家事、身上、法律の各相談欄、投書欄で具体的に「自治」を身につけよう—と盛り沢山。執筆陣も、須磨区内の居住者に限り、完全なコミニティ・ペーパーをねらっている。団地、新聞など全国的に多いが、区民のつくる自治会新聞は例が少いだけに、支持者は多い。

創刊号は三万部発行、竹

ミナト神戸はハイカラなお店が多い。舶来雑貨のス

世界のお人形展開く



世界各国の人形がせいぞろい

神戸港振興協会(会長 原口市長)の建設によるものだが、このままでは市の持ち出し分も回収不能になりかねない。同委員会では悪評を集めていたレストラのサービスを改善するとともに、タワーに隣接することになった。一部には「神戸は背山が全部展望台だ。ポートタワーは下から眺めて美しいが、ことさらに昇らなくともという気にさせる。よほど思い切った手を打たねば……」

という意見もあったが……

テッキオカダ(生田筋)が、センター街のスタイルビル四階で世界のお人形展を十日二月五日から四日間行わした。エジプト、メキシコ、フランス、イタリー、スウェーデン、ノールウェーなど各国の人形がズバリと並んだお人形オリンピック。女性客がほとんどだが、この素晴らしい人形たちにしぼしぼとれる人々が多かったようである。

なかでも人気のあったのは台湾の人間の大きさ程ある木彫り人形とスウェーデンの木彫り人形。また午年とあつてダラホースと飛ぶ幸運を呼ぶ馬の民芸品が飛ぶように売れていた。

百貨会たより

★新年おめでとうございます。

本年も神戸百貨会、お引立てのほど、よろしくお願い申し上げます。

★元町六丁目の元町電機が新装開店店内もくつと広く、明るくなり、事務所が移転致します。

(本社) 生田区花隈町一七一

TEL 3701

(元町店) 元町六丁目本通

TEL 5847

TEL 6581

★レストランハナワグレルが、新しくカレシヨップを開店致しました。場所も、ハナワグレルのすぐ近くで東へ一五〇メートルのところに、本場の香り高いカレーをお楽しみ下さい。

★和菓子でおなじみの二つ茶屋が元町一丁目に新店舗を建築中。今年三月初旬に完成の予定です。お客様に少しでもサービスをと、仮店舗で営業しています。風味豊かな和菓子を御贈答に、家庭へのおみやげにどうぞ。

★ラコ社・ペロ社のネクタイ、スカーフでおなじみの元町バザーが創立二〇周年を迎え、その記念セールを行なってお客様の人気を呼びましたが、二月一日より六日まで恒例のネクタイバーゲンセールを行ないます。

舶来のネクタイが安く買えるとおって毎年人気を呼んでいます。ぜひ一度、お立ち下さい。

★アクセサリーの店芸夢では、一月二十一日より二十五日まで新年のバーゲンセールを行ないます。

★さんちかタウンでは一月二十日より二十五日までバーゲンセールを行ないます。

さんちかタウン百貨会加入店ともどもお立ちよりのほどよろしくお願ひいたします。

☆

☆

☆

☆

チャー太かくたたかえり

①

「町を美しくしよう、住みよい神戸にしよう」と、この頃の世情、うるさく、めつきり住みにくい世の中になってきた。

ただ、大半の人間どもは、まだまだかけ歯だけで、本腰を入れてやりそうな様子もなく、ましてや、お役人様からしてそうであるので、まだまだ当分の間は安心して、のんびりムードで生活を楽しめるというわけだ。

かくいう小生、うらぶれたビルを根城にしているネズミのチャー太と申すもの……ま、ま、そうムキになりなさんな。

人間共は、

ゴキブリや南京虫と同じように、われわれをとんでもない野郎の仲間に入れては

アイキョウがあつて、なかなか親切で、

利巧な者もいるってことを

知ってもらいたいもんだ。

人間の世界でも、女が女のくどき方を

教えますって

いうような本を書くこ

世。小生のよう

なネズミ公もい

てもいいだろうと、サトリをひ

いてる。

ところで、ネズミ族といつても

数種類いるのでお教えしよう。

まず、七郎ネズミ。こ

ういやはやあ

聞こえは良いが、何のことはない

下水、溝などを住み家としてい

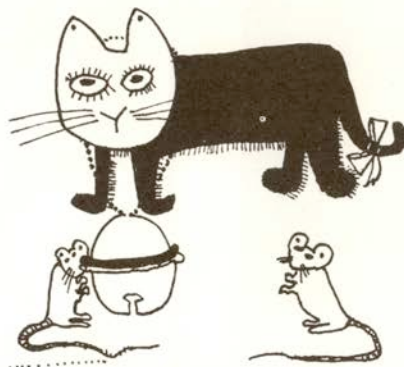
るのドブネズミである。われわれ

の中、もっとも身体が大きい。

これより、やや小さくて、暗褐色

をしているエジプトネズミ。同じ

くらいの大きさで、黒色の可愛い



黒褐色をして、腹の毛が白いハツカネズミ。他に、野ネズミやいろんな仲間もいるが、まあこんなところがわが国にいる家ネズミだ。

そもそも、われわれが一番キラワレルという理由に、やたらとあちこちをかじりまわるといふことがあげられる。でも、これは大族が歯のはえ出した頃に靴や下駄をかじったり、われらの宿敵ネコ族が爪を柱にたてるのと同じようなものである。

前歯は、上下二本づつあって、内側が軟かくなっており、常に伸びるので、固い物をかじってすり

減らすわけだ。だからノミのよう

に鋭くなっている。人間どもで、

物好きな奴がいてわれわれの仲間

をガラス箱の中に、軟らかい食物

だけを与えて飼う実験をやった奴

がいた。歯が伸びて、どんどん長

くなるのは当たり前である。

さて、人間どもの考える害虫に

は、南京虫、ゴキブリ、家ダニ白

アリなどがいる。

しかし、また、人間ども自身がつくり出している害虫も相当いる

のではないだろうか？

あなたのお家をお店を会社を

害虫の被害からお守りします



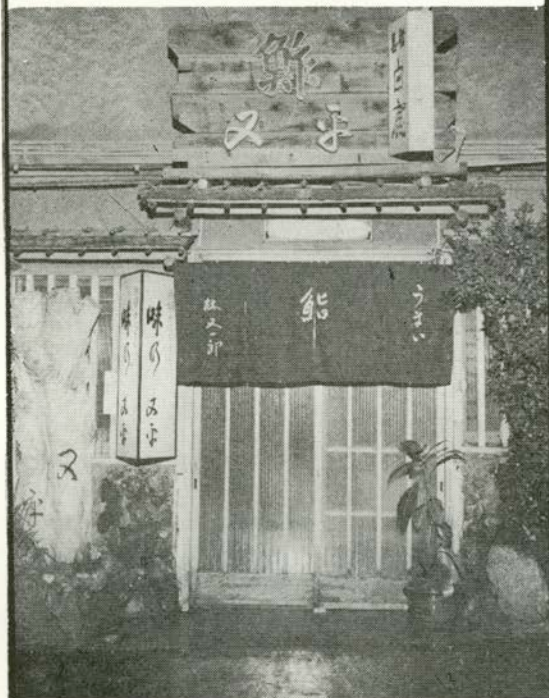
アイワ式集殺法完成ノ

南京虫・油虫・白アリ・家ダニ・ネズミ一般消毒

害虫駆除予防化学研究所
お気軽るにご相談ください

アイワ消毒株式会社
本社 神戸・生田区栄町2 TEL 330854

神戸っ子の味覚に
ぴったり、又平の早馴れ鮓
あけましておめでとうございます



神戸三宮生田ノ社ノ西

鮓の又平

電話・三の宮 ㊟ 0935

頌 春



ゲリル喫茶



サービスランチ
毎日献立が変わります
スープ付 150円

元町通3丁目本高砂屋2階TEL ㊟7368

月刊「オール

関西

発刊



「神戸っ子」の姉妹誌「オール関西」が、この一月いよいよ発刊になる。雑誌が育たないといわれてきたこの関西で、はじめて出版される月刊総合雑誌である。

従来の総合雑誌と異なり、政治・経済の「重い評論」よりも文化関係の「軽い評論」に重きをおいている。執筆者は、京阪神在住の作家・文化人が中心。

創刊号では、特集企画、「世界に飛躍する具体美術」、「関西うまいもん百選」など。「関西の舞台から」では、とくに文楽をとりあげて劇評家の座談をこころみだ。

「時事那談」は神戸大の小島輝正教授、京都大の金田雄次教授・大阪スタジアム社長の浅田敏章氏。大阪経済人による「大阪商人気質」の新春対談もある。

小説は、大阪の田辺聖子、京都の邦光史郎の両氏。「ただいま雑談中」の富士正晴氏、それに関西文壇の大御所、今東光氏の「東光放談」と、随想風の連載記事も掲載。

カラー頁は「日本のふるさと」。日本文化のふるさと飛鳥路を、カラー写真と梁雅子氏の文で構成。グラフィア買も豊富。

ほかによみものとしては、石濱恒夫氏のルポ風の文による「らいたる物語」―京都府学連対府警機動隊、神戸の彫刻家新谷秀雄氏の写真と文で綴る「旅行専科―白浜をゆく」など、かずかずの話題をよぶ記事が満載している。

表紙は早川良雄氏のデザインと構成。大きさは週刊紙大のB5版で、二百頁。定価百七十円。

「神戸っ子」をご愛読の皆さまにも、ぜひお手にとってお読みください。

一月二十五日、京阪神の各書店でいっせいに発売の予定です。

「神戸っ子

の会

会員募集



月刊「神戸っ子」は、神戸を愛する人々の手帖として、阪神間はもちろん、全国に数多くの愛読者をもっています。皆さまの暮らしに楽しい夢をおくる雑誌、神戸を訪れる人にはやさしい道しるべとなる雑誌、それがこの「神戸っ子」です。また、「神戸っ子」は神戸の新しい文化をつくりだす一つの拠点でもあります。

このたび、「神戸っ子」編集部では読者の皆さまと「神戸っ子」をよりいっそう親密に結ぶ虹のかけ橋として、このたび「神戸っ子の会」(Kobe Friendship Society)を結成することになりました。皆さまのご入会を心からお待ちいたしております。

「神戸っ子の会」(K・F・S)とは、こんなグループです。

①「神戸っ子」の読者の集いで読者の方々との親睦を深める集いで

す。

②神戸の文化は「神戸っ子」から生まれます。「神戸っ子の会」は神戸の文化をつくりだす有力な母体です。

③神戸の歴史とよい伝統を受け継ぎ、さらに高く発展させてゆく会です。

④政治・経済・文化という3本の柱をひとつに結ぶ会です。

⑤現代っ子のセンスと教養を高めたい会です。

⑥絵画、音楽、文学等のすべての文化領域において、新しい才能を発揮する広場です。

「神戸っ子の会」の会員には、次のような特典があります。

①毎月「神戸っ子」をお届けいたします。

②「神戸っ子」編集部で主催するさまざまな催しに、自由に参加することが出来ます。たとえば、次

のような催しです。

(1)一流作家、学者、芸能人を講師に迎え行なう講演会。

(2)「神戸っ子」特選名画鑑賞会(美術展覧会、古物巡りなどを目的とするバス旅行)。

(3)神戸っ子で買ったものを売る会。

(4)神戸っ子で買ったものを売る会。

(5)神戸っ子で買ったものを売る会。

★「神戸っ子の会」に入会するにはどうすればいいのでしょうか？

申込用紙(神戸っ子編集部に用意してあります)に所定の事項をご記入のうえ、入会金二百円と会費三百円を、神戸っ子編集部へ納めていただきます。すばいので

め、美しく、豪華な会員証をさしあげます。その翌月からは毎月会費三百円を納めていただきます。

連載



〈第一話一の谷異人館②〉

モルガンお雪

小山牧子え・石阪春生

その後、モルガンは雪への執着を断ち切れぬまま、一たんアメリカへ帰った。別れ際、モルガンは雪にいった。

「アナタ、モシ、コイビトサヨナラ。ワタシタチケツコンシマス。アナタ、オーケー。テガミクダサイ……ネ。」

彼は、彼宛のアドレスを書いた封筒を雪に渡し、淋し気な背を見せて日本を後にした。大富豪の息子で我儘一杯に育ったといっても、彼は繊細な感受性の持主であった。いくら媚を売って暮す身すぎの女でも、やはり雪の気持を大切にあつかい、彼が雪を愛しているように、雪からも愛されたいと思ったのである。

×

×

×

ゆっくりとベランダから居間に戻り、雪は古代更紗の窓掛けを閉じた。パロック風の高い背もたせのある肘掛椅子に身を沈めると、まるで林の奥に一人坐っているようであった。光線を遮断した部屋で、雪の左手の薬指に指している指輪だけが白い光を放っている。それは婚約の時、モルガンから雪に贈られた豌豆粒程の大きさのダイヤをはめ込んだブラチナ台の指輪である。

不本意な結婚であったけれど、雪は、モルガンと結ばれた後、二人の生活を大切に築いてきた。それが日本の古い女の資質であったと同時に、与えられた境遇を黙って受け止めて努める雪のしおらしさに打たれたモルガンの愛の深さにあったともいえる。愛されることが、いた

われることが、女をどれほどしあわせに、誠実にすることだろうか。

雪は指輪をまさぐり、顔に近々と寄せてみる。四、五年の年月がブラチナ台の表面にかすかなけりを作っていた。この指輪が、じっと雪の手の甲に華麗な蝶のように止って、二人の時々の生活を凝視してきたのだ。彼女は、自分へのいとしさにあふれて、頬から唇へ指輪で触れていった。

モルガンが、母国アメリカへ雪を連れて帰った時、モルガンの母は、雪をモルガン家の館へ寄せつけないほどに立腹した。彼の母にすれば、素姓の知れぬ異人種の女を、アメリカ切つての名門の家族の一員に加えることに生理的なほどの苦痛を感じたのであろう。

母を取るか、雪を選ぶかの岐路に立った時、モルガンは、ためらいもなく雪を連れてアメリカを去った。

それからの数年、時々日本へやって来たばかりは、ニースの別邸で雪と二人きりの豪奢な暮らしを続けていたのであった。

二人はよくヨーロッパの古い街を旅して暮した。モンマルトルのガス灯の陰で、ニースの浜辺で、スペインの石畳の上で、雪は、モルガンのガラス細工のような目の奥に、金色の毛の陰にひそむ男のやさしさと幼さをつつ確かめていった。

モルガンにとって、雪は不思議な女であった。

彼が最初に結婚したアメリカの女性、メタ・マツケイ

はニューヨーク社交界の花形で、誇り高く、金持であることがとりえて、虚弱な体質である上に才能にとほしくエール大学を中退し、品行もあまりよくないモルガンを軽んじ、彼が女性関係のスキャンダルに名前を出す、待っていたように実家へ帰ってしまった。この事件で打たれたのはモルガンであった。女を侮辱したと、ニューヨークの社交界は彼を締め出したのである。

彼は鬱積した心を抱いて日本へやって来た。東は新橋、西は祇園島原に、日本での彼は、金を湯水のようにばらまいて遊びほうけた。

最初、京都小林楼の雛窓太夫を五百円で身受けして、すぐに飽きて棄て、次ぎに紅葉館の仲居おしかに執心し

「ユキサン。結婚シテ下サイ。」

モルガンの哀願に近いプロポーズに雪は満足な答えを与えず、その年、彼は本国へ帰ったが、別離の折、モルガンは雪にアドレスを書いた封筒を何枚か残し、気が変わって恋人と別れて結婚してくれ

る気持になったら手紙を欲

しいと言つて去った。

モルガンの執心は翌年に実った。



たが、これは近衛公

爵の世話になっている女で、にべもなくはねつけられ、最後にめぐり合ったのが雪であった。

両親の溺愛によって抑制心に欠けた性格に育ったモルガンにとって、かしくかれるために生れてきたようなアメリカの女、メタ・マツケイ

との生活は、お互いに傷つき合うことの方が多く、苦しみと連続であった。そのようなモルガンにとって、雪のやさしさは、異国情緒として片付けるにはあまりにはげしく彼の閉じた心を開いてゆき、血の中に熱いものを流すのであった。

雪の意志からではなく、モルガンの残して行った封筒の中に承諾の手紙を入れて、彼女の知らぬ間に送られたのである。

それは、当時すでにお茶屋の女将をしていた姉の次香と、自前とはいえ、むなしく年を重ねてゆく妹の行末を案じた兄の仕業であった。

「サンキュー、ユキサン。」

感動に言葉をつまらせてささやいたモルガンのその表

情が、雪の脳裏を鋭い閃光になってよぎった。

谷あいから、乾いた砂と青葉のむせ返る匂いが這いあがってきて、雪の頬を包んだ。彼女は追憶から覚めた目をあげた。部屋の中は暗くかげって、窓掛けを引くと戸外はすでに暮色に包まれていた。

窓の外で、黒々と静まっている樹木のむこうに海が虹色に染って輝いている。そして、虹色の海に、紫色のゆらめきになって淡路島の島影が西の方から大阪湾のふところ深く延びてゆくのであった。

この内海の暮色は、雪にニースの日没を思い出させた。

モルガンと二人で暮らしてきた年月、こんな日暮に彼をよくマントルピースの前で安楽椅子をゆすりながら雪に言ったものだ。

「ユキサン。ミュージック、ブリーズ。」

雪は幻聴に撃たれたように立ちあがった。

そして幻聴であると知りながら、やはり立て掛けてあった和琴を緋色の絨毯の上におろさずにはいられなかった和琴の友禪の覆いを取りのけ、姿勢を正して雪は素手のまま弦を弾いた。彼女の十本の指が、あたりの薄闇を揺り動かすように和音の波を送りだし、やがて、雪自身の心もその波の中にただよいだしてゆく。

「胡弓のお雪さん」と呼ばれた雪には、持って生れた楽芸の才があった。

箏曲——千鳥——。

しほの山 さしでの磯にすむ千鳥

君が御代をば八千代とぞ啼く

君が御代をば八千代とぞ啼く

淡路島、通う千鳥の啼く声に

幾夜寝さぬ須磨の関守

.....

弦の響きは、半開らきになった洋館の窓を抜け、薄闇の中で枝や葉をすり合わせている樹々のささやきとからみあい、山の深みへと吸われてゆく。

「灯火、入れましょか？」

無心に弾く雪の背後に、小間使いのイシが立った。

「もうそんな時間とすか？」

雪が手を止めてふり返った。

イシは、高い踏み台の上に立ち上がって、燭台の灯を近づけた。一瞬、青い炎が燃え、五つの球が巨大な花弁のようにより添ったシャンデリアでガスが燃えた。

イシは、雪の実家がある京都の女であった。手先が器用で、シャキッとした感覚でイシが縫いあげた着物に手を通すと、日本に帰ってきたという実感が雪を充たすのである。

「御隠居さんとこへ、上の奥さんがおこしとす……。」

「そう。」

雪は白い歯ならびをほころばせた。彼女の一番上の姉次香が京都からやってきたのだ。

雪の肉親たちは、みんな情のこまやかな人柄である。特に、近く故国を発ってゆかねばならぬ雪に対しては、どれほどいたわってもいたわり足りないと思う彼等である。

散髪屋を営んでいる兄も、お茶屋の女将をしている姉の次香、旦那持ちのままで左袂を取っている次姉の歌吉も、両手に抱えきれないほどの手みやげをたずさえて、三日にあげず京都からこの須磨の山中にやって来る。

手みやげの中には雪のために見立てた京都の反物や下駄、新鮮なすぐき等があり、四、五人いる召使いたちにも石鹼やタオル等と、もれなく気を配った贈物が用意されてくるのだった。

「姉さんがおいでなら、今夜はごちそうにせな……イシさん、うち、お寿司食べとうおす。握り寿司の新しいの……。」

「へえ……。」

「すんません。こない遅うから……。」

「なんの、奥さん、ちゃんと気ままお言いやす。そう長くおいでやありませんのに……。」

やがて遠い他国に旅立たねばならぬ雪であるから、と

のように激しい渴望がこの土地にいる間の雪をこがした
ことか。

十分の後、調理人に命じられ、新鮮な寿司種を買いか
めるため、この山荘の別棟に住んでいる庭師秋定が山
を駆け下りてゆき、雪は、上草履の音を優雅に響かせな
がら、しばらくこの館に滞在している母親コトの部屋へ
広間を抜けて行った。

広間を真ん中にして、雪の部屋とは反対の西南の隅に
あるコトの部屋では、明るい笑いの渦があった。老年の
ために、頭髮がおうかたなくなっているコトが、尼頭巾
をかぶり、毛足の長い絨毯の上に正座し、大きな丸髻に
結いあげた次香が絹物をまとった膝をしゃんとそろえ
て、これもコトの横に坐っている。

「よお言わんわ。二人とも、椅子にお掛けやす。」

雪のあきれ顔に

「この方が気楽なんえ……。」

次香がコロコロと笑った。

「雪ちゃん。あんた結構やし。うちがモルガンさんに
内緒の手紙出したげたよって、モルガンさんの奥さんに
なれて……。異人さんでも大事にしてもろて、裕福に暮ら
さしてもらうんが女は一番のしあわせやし、雪ちゃん。」

次香は、雪のところへやってくる度にそう言った。

日露戦争が終って四年。日本の文化と経済は、軍閥の
専横や恐慌という深淵をはらみながらも発展を続けてい
た。そして、このような歴史の流れの陰で、たくましく
咲きほこる花々のように息づいていたのが花柳界であっ
た。この時代、新しく台頭した産業の波に乗って、船成
金、鉄成金、商人、銀行家も地主も、ふくらんだふとこ
ろで花柳界に通い、花柳界が日本の文明の潤滑油になっ
ているといっても過言ではなかった。

古い伝統の都、京都は言うに及ばず、ここ新開地とし
て拓らけた神戸でも地方の農漁村から貧しく飢えた少女
を買収取り、芸事を仕込み、花隈、福原という二つの飲
楽郷が、夜の中で口を開らいていた。

そこでは、女たちがまるで消耗品のように美しく着飾
った化粧の下で衰えてゆくのであった。女たちの中では
晴れて人の妻として落籍されてゆくのは少く、たいてい
は、金か地位のある男の妾になった。

そして、そのような運命を雪もまたどらねばならな
かったかも知れないのだ。

京都でも名のあるお茶屋、加藤楼の女将をしている次
香には、花柳界に生きる女たちの苦しみや悲しみを知り
過ぎるほど知っていた。

「あのえ、あんたと一緒に座敷へ出てはった小梅姐
さん、こないだうちへ来て泣きはって、車引きの女房で
もええよって、一生の内一べん一つ家で夫と呼び妻と呼
ばれて一緒に子育てして暮してみたい言うてな、可哀そ
うええ。」

「そう。」

雪は黙って聞いていた。それは、すでに雪にとって何
百回となく言われ続けてきた言葉であるが、モルガンの
妻になってからしばらくは、「あんた、しあわせや。」と
いう言葉に強い反感を覚えたのであった。しかし、いま
は違う。しあわせであろうか、雪自身の心にもさだかで
はないが、他人の目にそう映り、そのように語られるこ
とに寛大な気持で微笑んでいられる雪であった。

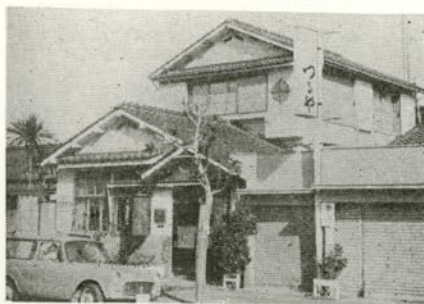
「姉さん、どうです？」

雪のなやかな手に銚子が持たれ、次香の方に向けら
れた。彼女は日本の酒が好きだ。

今宵は母と次香と三人で楽しく飲みたいと雪は思った
丁寧に刺り込まれた三日月眉の下の切れ長の目がうる
み、彼女の、常は青ざめている顔に血がのぼり、頬がほ
んのりと桜色に染りだす。

薦の葉の彫り込みがあるチーク材の大テーブルの上に
は、庭師秋定が明石まで行って買い漁ってきた蛸や海老
そして、新鮮な魚の握り寿司や刺身が所狭く並べられ、
シャンデリアの青い灯に輝いているのであった。

高級きものとおび
しみぬき・活洗専門店



平野 つみや本店
兵庫区神田町125(家庭裁判所前東1丁)
TEL 346932

創業明治二十八年

履物の山下

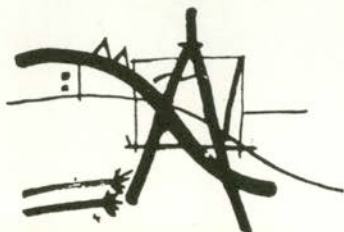
古い老舗に新しいセンス

神戸 三宮センター街

TEL 39 0256

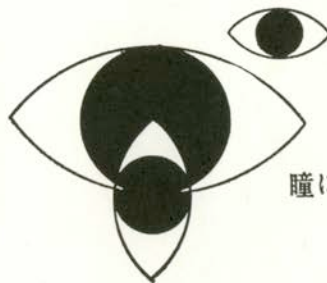
確実正札 完全冷暖房
静かに品選びの出来る店

額縁絵画・洋画材料
室内工芸品



末積製額

三宮・大丸北
トア・ロード
331309・6234



瞳に美しさを保つ
スポーツに
美容に
現代の科学が生んだ
コンタクトレンズ

国際コンタクトレンズ研究所

神戸市葺合区御幸通八丁目九ノ一(三宮駅前)
神戸国際会館内 TEL (22) 8161・8361

ユニークな阪神美容室のシャンプーとカットをあなたの髪に



独自のココロ
オイルシャンプー

エリザベスアーデン
オイルシャンプー

阪神美容室

★大丸前TEL ☎36264★元町阪神地階TEL ☎5592

平野屋の
ソフト
ドーナツ!!



COFFEE・CAKE・RESTAURANT

平野屋

本店 大阪ナンバ TEL ☎1544・1564
さんちがサロントウン TEL ☎5597〜8



エキゾチックな
神戸が生んだ
ユニークな香り!

男性にも★女性にも★
ふけ・かゆみ・抜け毛
整髪にも……

高級ヘヤトニック 〈包装価格〉450円・1,000円

オード・コーカス

発売元
神戸

三星堂

全国有名百貨店・薬局
化粧品店にて販売いた
しております。

創作ハンドバッグ
工芸品 ORIGINAL

神戸 ■ 元町

ACCESSORIES

イクシマヤ

TEL. (33) 2415・2416



よろず物 縫衣機 上處

神戸シャツ

大丸前 TEL ㉓ 2168



ハイセンスの
紳士服で
最高の
おしゃれを!

三惠洋服店

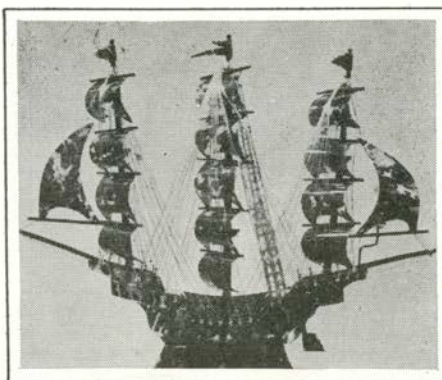
TEL ㉓ 7290
元町通 四丁目



高級紳士服専門店

神戸テラー

さんちかメンズタウン TEL ㉓ 0388
生田区北長狭通 2 (省線高架通50)



センスあふれる
べっ甲専門店

太田 鼈甲店

元町1丁目 TEL ㉓ 6195



あけまして
おめでとう
ございます



元町2丁目
☎4707~8



高級洋品
神戸元町1丁目
TEL (39) 4880

マンヤマ

MEN'S SHOP
セゾン

千穂庵
神戸元町4丁目
TEL ☎6959

男子洋品の店
コウベヤ
元町通2 TEL ☎2589



—オランダ風ビフテキ—
元町グリル
 元町2丁目 TEL (33) 6451

★2階宴会場→ クラス会などにご利用下さい。

The
Cosmopolitan
 Valentine F. Morozoff

コスモポリタン
 チョコレート・キャンデー

神戸本社	神戸市生田区三宮町1丁目170	電話 33-5304
神戸直売店	神戸市生田区三宮町1丁目	電話 33-1217
大阪堺筋店	大阪市東区淡路町2丁目	電話231-6979
大阪心斎橋店	大阪市南区安堂寺橋通4丁目	電話251-4182
東京銀座店	東京都中央区銀座8丁目	電話571-2303
東京新宿店	東京都新宿区角筈1丁目	電話352-2436
	新宿ステーションビル地下2階	電話 7-2534
千葉駅ビル店	千葉市新町千葉駅ビル名店街	



長崎堂元町店

ご贈答に風味豊かなカステラ
長崎堂本店

本店 大橋町5大五ビル (61) 0553-4
 新開地店—松竹座前 (56) 2423
 元町店—元町6 (34) 4130
 さんちかスイーツタウン TEL (36) 3625




おすし
 てんぷら
榮 彌

三宮市二・朝日会館前
 TEL (39) 5772
 (第一・第三日曜お休み)
 さんちか味ののれん街
 TEL (39) 5332

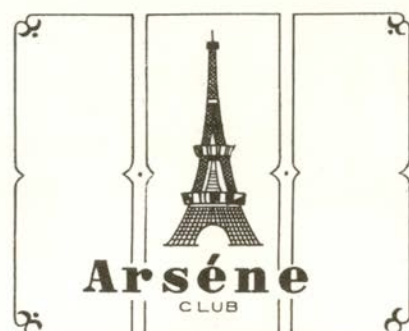
営業時間
 A.M. 11.30~P.M. 9



CLUB
落

清水よし子

生田区下山手通2丁目TEL(39)1515

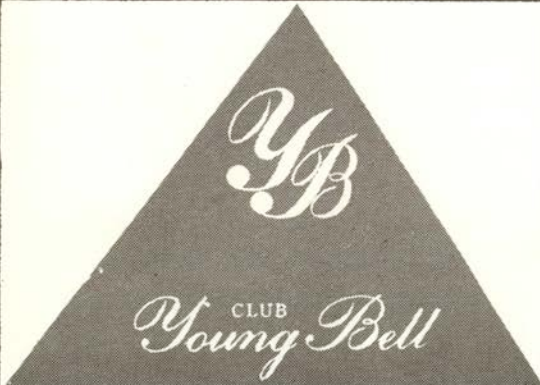


Arsène
CLUB

アルセーヌ

松井由紀子

TEL 33/3794神戸三ノ宮生田新道レンガ筋



YB

CLUB
Young Bell

松田真理子

生田・中山手2丁目89・光ビル1階TEL 33-3052

洋酒の店

キャンテイ

Chianti*

榊 晴夫

TEL(39)3060

213KITANAGASA-DORI IKUTA-KU KOBE